



報道関係各位

2020年9月25日

静岡県小山町

中日本高速道路株式会社 東京支社

あしがら

E1 東名高速道路 足柄スマートインターチェンジ ～開通1年後の交通状況及び整備効果について～

いけやせいいち

静岡県小山町(町長:池谷晴一)と中日本高速道路株式会社 東京支社(東京都港区、支社長:
なかい としお 中井俊雄)が共同で事業を進め、2019年3月9日(土)に開通した E1 東名高速道路 足柄スマート
インターチェンジ(スマートIC)の開通1年後の交通状況および整備効果を取りまとめましたので
お知らせします。

- 足柄スマートICと隣接IC全体の1日平均利用台数が800台増加
- 利用ICの分散が図られ、御殿場ICの渋滞発生回数が5割以上減少
- FUJI SPEEDWAYから大井松田ICまでの休日ピーク所要時間が、最大約16分短縮
- 第三次医療施設までの救急搬送時間が5分短縮し、12回の搬送を実施

1.交通状況

足柄スマートIC開通前後の利用状況.....別紙1

- ・足柄スマートICと隣接IC全体の1日平均利用台数が800台増加
- ・足柄スマートICは、1日平均2,600台の利用
- ・休日は平日平均の約1.7倍利用され、観光目的による利用が多い特性

2.整備効果

(1) 高速道路の混雑緩和と利便性向上..... 別紙2

- ・利用ICの分散が図られ、御殿場ICの渋滞発生回数が5割以上減少
- ・御殿場市から高速道路(東京方面)は約6分、小山町から高速道路(名古屋方面)が約11分短縮

(2) 観光振興に寄与..... 別紙3

- ・FUJI SPEEDWAYから大井松田ICまでの休日ピーク所要時間が、最大約16分短縮
- ・FUJI SPEEDWAYにおいて、入込客数が約10%増加

(3) 救急医療への貢献..... 別紙4

- ・足柄スマートICを利用し、第三次医療施設までの救急搬送時間が5分短縮し、12回の搬送を実施

(4) 小山町内企業の声..... 別紙5

- ・約5割が足柄スマートICを利用し、物流の効率化に貢献
- ・移動時間の短縮により、事業活動の効率化や労働時間の改善を実感

3.配付先

静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会、御殿場市政記者クラブ、小山町記者クラブ

4.お問い合わせ先

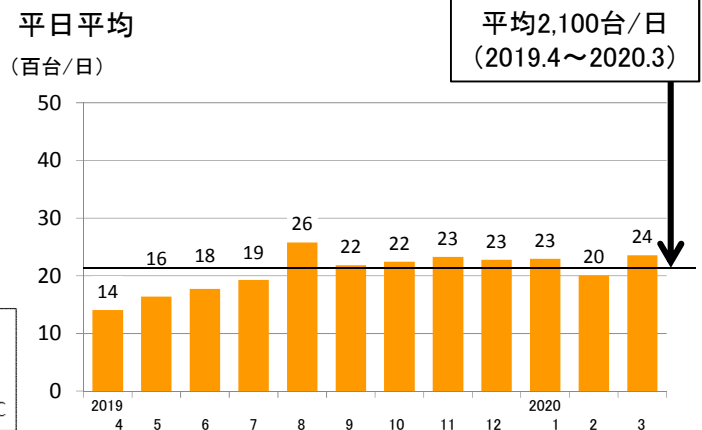
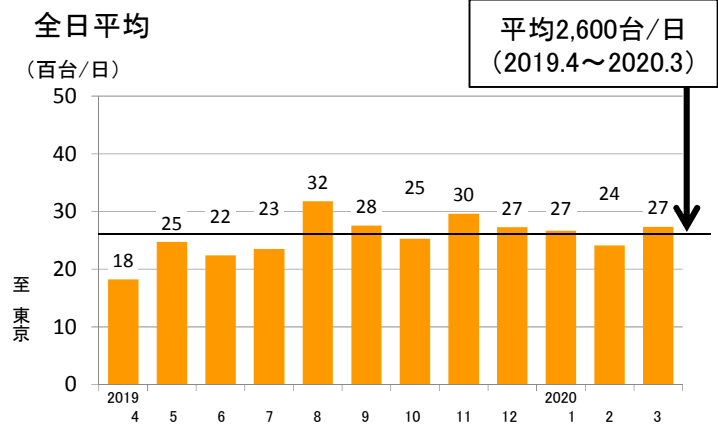
静岡県小山町 経済産業部 フロンティア推進課 主任 山崎 豊
電話:0550-76-1111(直通6129) (平日8:30~17:15)
中日本高速道路株式会社 東京支社 総務企画部 広報・CS課
電話:03-5776-5257(直通)

- 開通後1年間の足柄スマートICと隣接ICの1日平均利用台数が800台増加
御殿場ICの1日平均利用台数が1,600台、大井松田ICが200台減少
- 足柄スマートICは、1日平均2,600台の利用
- 休日は平日平均の約1.7倍利用され、観光目的による利用が多い特性

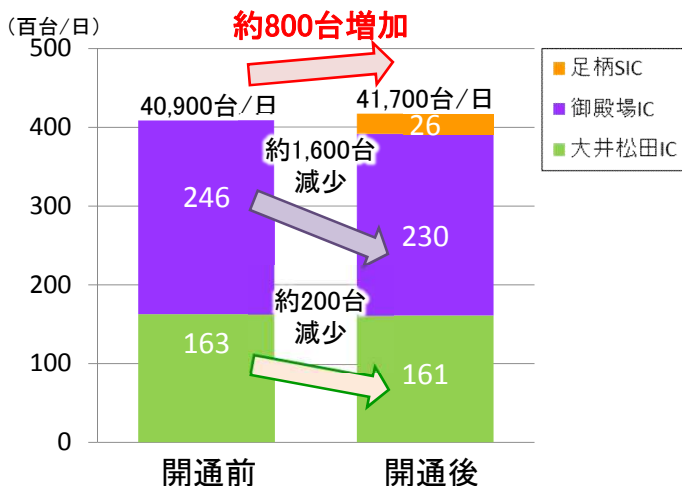
位置図



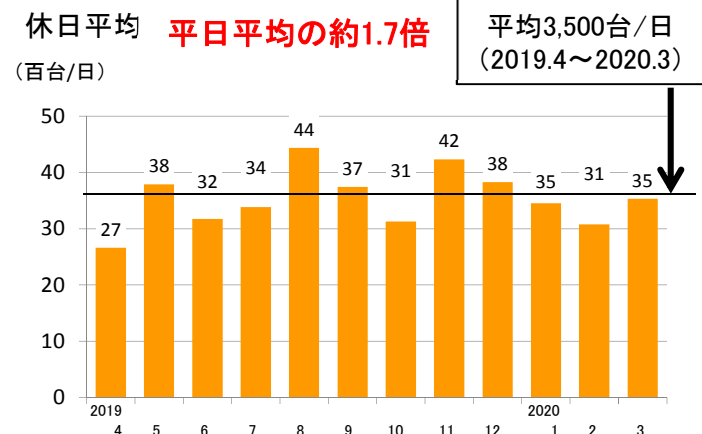
足柄スマートICの利用交通量 (2019年4月～2020年3月)



各ICの全日平均利用交通量



足柄スマートICの利用状況



出典: NEXCO中日本提供データ(平日: 休日以外 休日: 土日祝日)

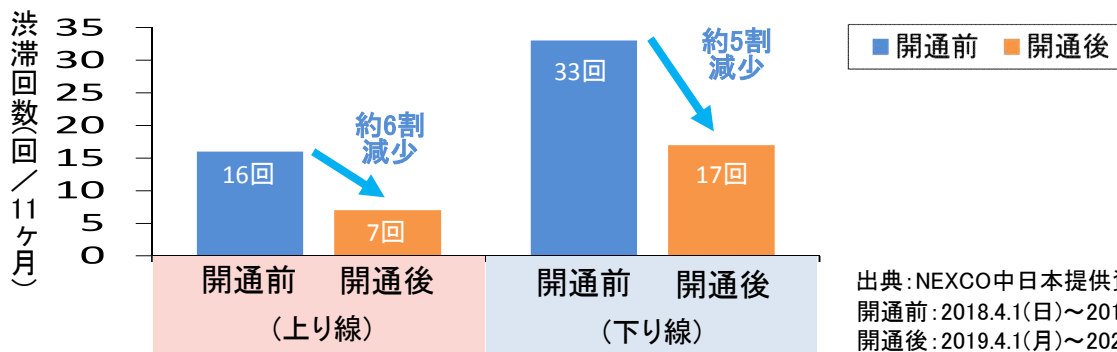
(1) 高速道路の利便性向上

別紙2

- 足柄スマートIC開通により、利用ICの分散が図られ、
御殿場ICの渋滞発生回数が5割以上減少
- 一般道の渋滞区間を回避して高速道路へアクセスが可能となり、
御殿場市から高速道路(東京方面)は約6分、小山町から高速道路(名古屋方面)が約11分短縮

■利用ICの分散

◆御殿場IC出口の渋滞発生回数



■利用ICの分散による高速道路の利便性向上

【御殿場市役所⇒高速道路(東京方面)】



< 走行経路 >

- 国道138号ルート
御殿場市役所⇒国道138号⇒御殿場IC⇒足柄スマートIC
- 県道御殿場大井線ルート(スマートIC開通により新設)
御殿場市役所⇒県道御殿場大井線⇒御殿場市道⇒足柄スマートIC

所要時間はETC2.0プローブデータより算出(2019.11 休日15時台)
主要渋滞箇所: 静岡県HP「地域の主要渋滞箇所」

【小山町役場⇒高速道路(名古屋方面)】



< 走行経路 >

- 県道及び国道138号ルート
小山町役場⇒県道竹之下小山線⇒県道御殿場大井線⇒県道御殿場箱根線⇒御殿場IC
- 足柄スマートIC経由ルート(スマートIC開通により新設)
小山町役場⇒県道竹之下小山線⇒県道御殿場大井線⇒御殿場市道⇒足柄スマートIC⇒御殿場IC

- FUJI SPEEDWAYから大井松田ICまで、休日ピーク所要時間が、足柄スマートICを利用することで**最大約16分短縮**
- 足柄スマートIC開通後、FUJI SPEEDWAYの**入込客数が約10%増加**

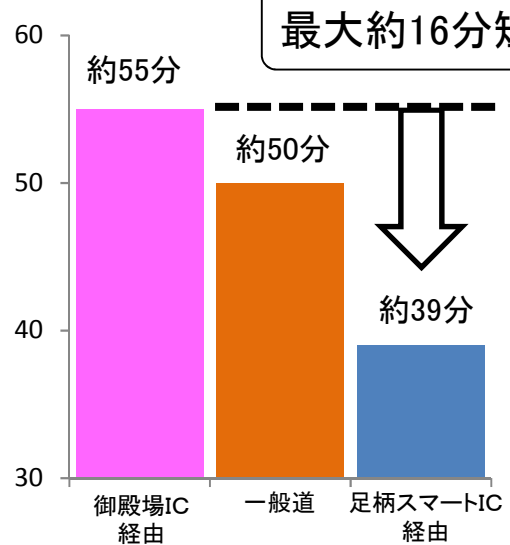
■FUJI SPEEDWAYから大井松田ICへの所要時間【帰り道】

【主なイベント】
5月: スーパーGT 8月: スーパーGT
7月: スーパーフォーミュラ 10月: 世界耐久選手権

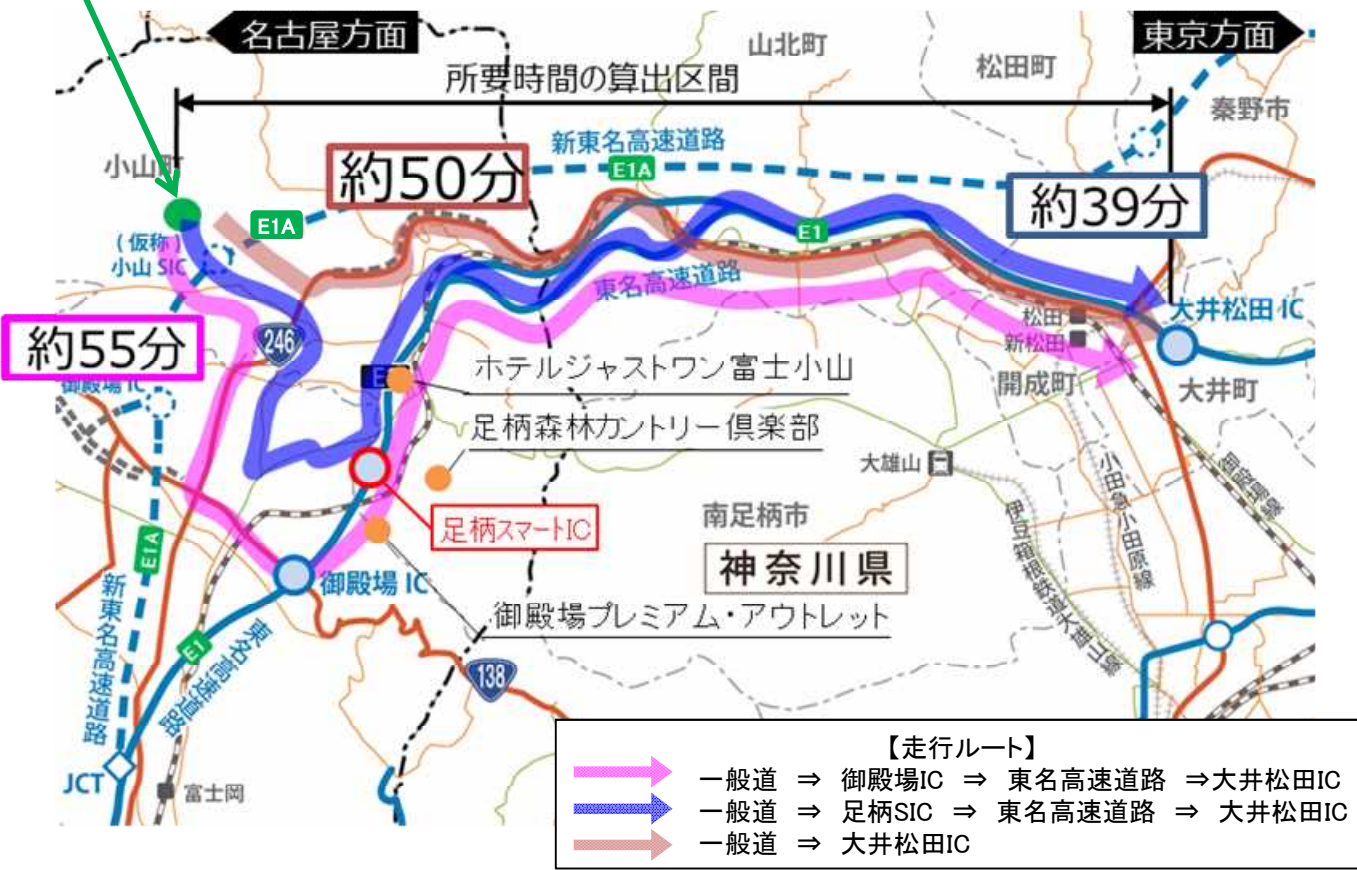
開通後、入込客数が**約10%増加**



◆大井松田ICへの所要時間



※所要時間
ETC2.0プローブデータ2019.5 休日ピーク時(17時台)平均



- 足柄スマートICを利用し第三次医療施設までの**救急搬送時間が5分短縮し12回の搬送を実施**
- アクセス時間の短縮により、多量出血による死亡リスクが低減
- 搬送時間短縮により、患者の負担軽減や搬送時間のずれの解消に繋がる

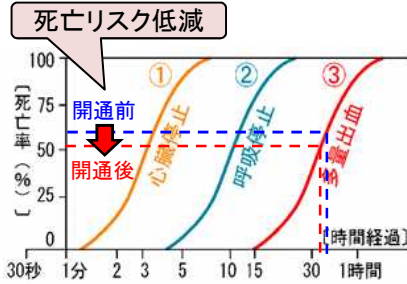
■ 救急医療施設への搬送時間

沼津市立病院

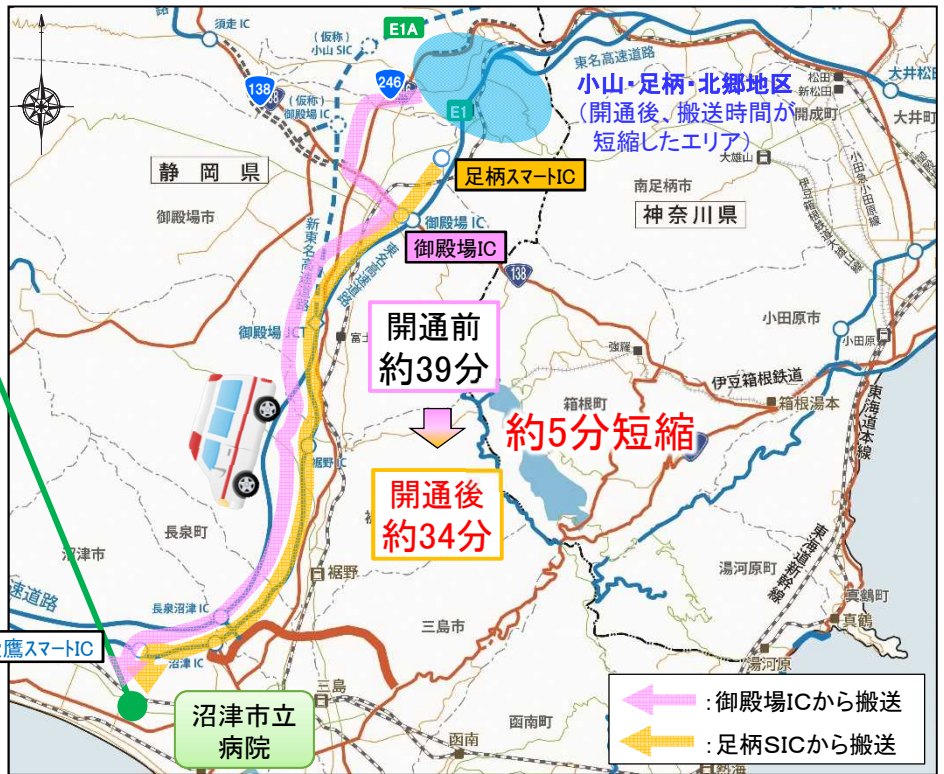


<カーラーの救命曲線>

カーラーの救命曲線では**多量出血後約30分で死亡率50%以上**となる



- ① 心臓停止後約3分で50%死亡
- ② 呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③ 多量出血後約30分で50%死亡

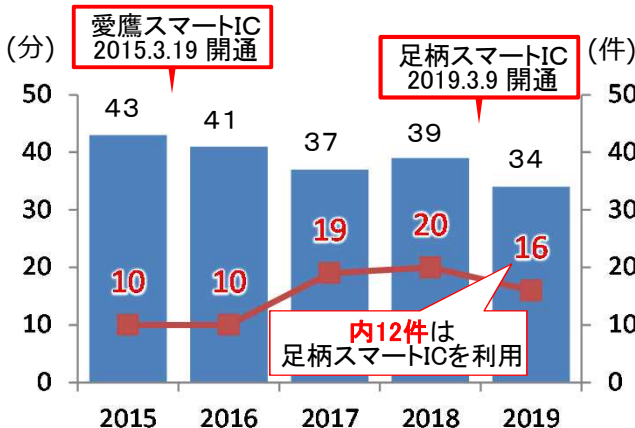


出典：小山消防署データ(小山町の小山・足柄・北郷3地区)
 開通前：2018.4.1～2019.3.8の平均搬送時間
 開通後：2019.3.9(スマートIC開通日)～2019.12.31の平均搬送時間

■ 搬送時間短縮効果

<沼津市立病院までの平均搬送時間>

スマートIC整備により**救命率向上**



出典：小山消防署データ(小山町の小山・足柄・北郷・須走4地区)
 ※2019年については2019.3.9～2019.12.31の足柄スマートIC利用時の平均搬送時間、搬送件数

小山消防署

—消防署コメント(2019.7.25)—

小山・足柄・北郷地区の重篤患者の方を緊急搬送する場合、沼津方面の第三次医療施設である沼津市立病院等に搬送しています。足柄スマートIC開通前は、この地区からの緊急搬送に東名高速の御殿場ICを利用しており、インターまでに時間を要してしまうことや、病院へ伝える搬送時間に狂いが生じていました。

足柄スマートICを利用することで高速までのアクセス時間が**最大約5分短縮**され、**患者さんへの負担軽減に繋がっています。**

また、搬送時間が読めるようになり、病院へ伝える**搬送時間のずれが少なくなりました。**

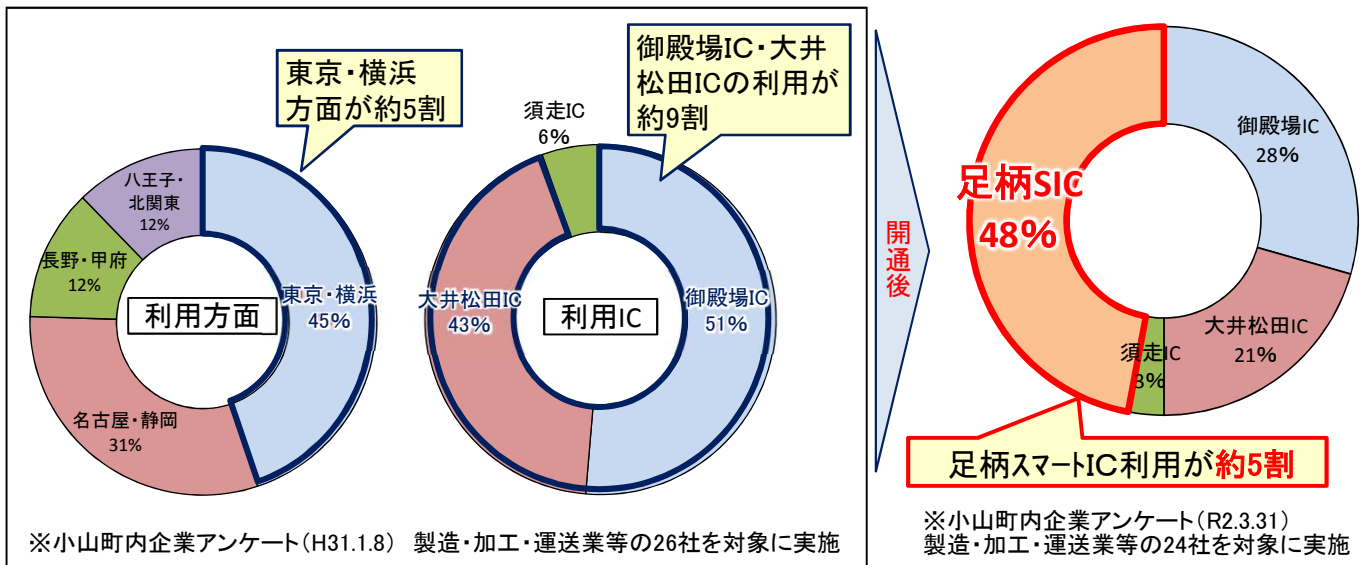


- 開通前は、小山町内企業の約9割が御殿場IC・大井松田ICを利用
- 足柄スマートIC開通後は約5割が足柄スマートICを利用し、物流の効率化に貢献
- 移動時間の短縮により、事業活動の効率化や労働時間の改善を実感

■小山町内企業の高速道路利用実態と開通後の利用IC

◆足柄スマートIC開通前の高速道路利用動向

◆足柄スマートIC開通後の利用IC



■小山町内企業が感じている効果

製造・加工・運送業者等の声

—各企業のコメント—

● A社

小山町内にある工場から出張する際に足柄スマートICを利用することで所要時間が約15分短縮しました。

これにより、事業活動の効率化に繋がり、さらに、移動の際の安全面が向上しました。また、社内でコミュニケーションをとる時間を確保できるようになりました。(ヒアリング実施日:2019.8.5)



● B社

東京方面、名古屋方面への配送の際、開通前は御殿場IC、大井松田ICを利用していましたが、現在は足柄スマートICを利用しています。高速道路までのアクセス時間が短くなり、労働時間の改善に繋がっています。(ヒアリング実施日:2019.4.22)

